

1. 件名：中長期課題「格納容器再循環サンプスクリーンに対する炉心損傷時の影響検討」に関する面談

2. 日時：平成29年5月12日（金）13：30～15：20

3. 場所：原子力規制庁13階B会議室

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制企画課 帯刀課長補佐、片岡専門職、安岡専門職

北海道電力株式会社 原子力部 原子力リスク管理グループ リーダー

関西電力株式会社 原子力事業本部 原子力安全部門 安全管理グループ
マネジャー、他2名

四国電力株式会社 原子力本部 原子力部 工事グループ 副リーダー

5. 要旨

- 新規制基準審査過程で抽出された PWR 再循環サンプスクリーン中長期課題である「①海水注入時の再循環運転」と「②炉心損傷時の再循環運転」について、今後の知見拡充の観点で取り組まれている。
- 今回は、②に関する「格納容器再循環サンプスクリーンに対する炉心損傷時の影響検討について」の検討結果報告を受けた。
- 炉心損傷に伴う核分裂生成物の析出及び海水腐食生成物量のサンプスクリーンに対する影響を考慮しても、格納容器スプレイポンプによる再循環運転が可能であることが示された。

6. 添付資料

- ・ 格納容器再循環サンプスクリーンに対する炉心損傷時の影響検討について

以上